

若杉山登山ガイドの発行を

ホームページに掲載

問

若杉山の麓にある須恵町には雄大な若杉山登山道があります。ＪＲ博多駅から須恵中央駅まで30分程度で着くことや、近年の健康志向により、多くの登山者を見かけます。初心者のために、町で若杉山ガイドや三郡縦走コースなどの資料を発行していただければ、登山者に喜ばれると思います。

答

また、岳城展望所からは、福岡市街や志賀島、遠くは糸島半島の可也山の風景が望めます。展望所にトイレがあれば、中高年の女性は、ゆっくり食事や会話を楽しむことができます。心が癒され、また来たいという気持ちになっていただければ、町の活性化にもつながると思います。

中嶋町長

ているわけではありませんが、もう少しわかりやすい案内図や標識版を必要に応じて作っていきたく考えています。

また、ホームページに「須恵町ハイキングマップ」の掲載を考えています。

現在、須恵町ハイキングマップと登山有志者で作成された手書きの地図があり、皿山公園前には、ハイキングコースの案内看板を設置しています。

今のところ町内・町外の登山愛好者から特段の苦情や要望等が上がっていません。

トイレのないコースは、イベント広場から岳城展望所まで約35分のコースですが、展望所に水がないため、ポンプアップ等の設備を考えなくてはなりません。

費用対効果の面から難しいと考えています。

事前に用をすまされるようお願いしたいと思います。



答弁中の中嶋町長



田原 重美 議員

雇用

公務員の非正規から正規職員への転換を

転換は困難

問

須恵町では、昭和60年（労働者派遣法施行当時）は正規職員183人、非正規職員約10人。それに対し、平成26年は正規職員174人、非正規職員183人で、正規職員より非正規職員が多くなっています。合計人数は29年間で164人増加していますが、ほとんどが非正規職員です。公務労働は、生活や福祉、

社会保障など住民のプライバシーに深く係る仕事であり、教職員は子どもたちの指導教育を担い、子どもの将来を左右する大事な仕事です。その正規職員でやるべき仕事は、非正規職員という不安定な職種に置き換えられています。非正規から正規職員へ転換をすべきです。

答 今泉総務課長

行財政集中改革プランの実行により、確かに正規職員は減少しています。

一方で、非正規職員が増加した要因として、この30年余りの間に、小・中学校の新設開校や、アザレアホール・地域活性化センター等の施設

を整備してきたことがありますが。

また、近年の住民ニーズの多様化に対応し、住民サービスの質を向上させる施策を展開していく上で、すべて正規職員を配置することは、財政的にも無理があり、そこに非正規職員を配置する必要があります。

非正規職員の雇用は、政府が景気浮揚対策の一環として進めている、雇用の拡大、雇用創出事業の施策の一翼を担うものでもあると考えています。

正規職員と非正規職員とでは、その責務と事務の質の内容は、当然、格段の差があり、本来正規職員でやるべき仕事を、非正規職員に置き換えているわけではありません。

答 中嶋町長

正規職員と非正規職員の職務内容や権限、責任には大きな違いがあります。

非正規職員を正規職員にと言われますが、教員試験や採用試験に合格した人たちが正規職員として採用されるわけで、誰でも正規職員にすればいいという問題ではないと考えます。



職員の執務風景

